

## 2007年9月25日開催 第521回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 大村英昭委員 神谷徹委員  
國定浩一委員 黒田勇委員 東野博昭委員 藤原健委員

### ■ 毎日放送出席者

山本会長 河内社長 田中専務 上田専務 山西常務 松島常務  
西岡ラジオ局長 三村制作局長 東編成局長 熊報道局長  
木田コンプライアンス室長

### ◆ 「全国ネット番組について」

毎日放送の第521回番組審議会は9月25日大阪市北区の本社で開かれ、JNN系列の全国ネット番組について意見交換しました。

委員の主な意見は次の通り。

\*安倍総理辞任の第一報は、TBSの見事なスクープだった。報道のTBS、報道のJNNと言われたのは、報道姿勢、報道の中身が評価されたからで、ぜひともそうした姿勢を堅持してほしい。

\*TBSの「みのもんたの朝ズバッ！」について、放送倫理検証委員会から見解が出されたが、やはり調査報道にあたっては、最終的にオンエアするときに、出演者との綿密な打ち合わせ、最後の詰めが肝要だ。

\*「朝ズバッ！」は、政治家を呼んで意見を戦わせるような趣向があるなど、スリリングで、大胆なことをやっている。また制作する側がみのさんのキャラクターに甘えるのではなくて、大きなパネルを回す、1行見出しの紙をずっと貼る、そこに効果音をつけるなど、見る人を引きつける、飽きさせない工夫をしている。

\*10月から「緊急地震速報」が始まると聞いているが、十分な周知がないまま実施されると、かえって混乱がおきるのではないか。

\*「世界陸上」は進行役のタレントが「面白いですよ。すごいですよ」などと騒ぎ過ぎだ。

(「ネット番組」については次回11月例会でも審議されます)

#### ◆日本放送文化大賞審査報告

日本放送文化大賞テレビ番組部門の近畿地区審査の結果について、審査に加わった黒田委員から報告がありました。審査の結果は、毎日放送の「映像'07 私は生きる」が一位で、中央審査提出作品に選ばれました。

この番組はJR福知山線の事故で重体になり「助かる見込みはない」とされた女性が家族の強い絆に支えられて、奇跡的に意識を回復し、壮絶なりハビリに懸命に取り組む姿を描きながら、強じんな生命力と生命の不思議さを追ったもの。

黒田委員は「この番組は、女性の生きる姿を通して事故の問題を考えるという、重要なジャーナリストティックな役割を果たしている。個別の感動的な物語を描くことで人々に感動と勇気を与えている」と審査での評価を伝えました。

また、黒田委員は、ジャーナリズムや放送の役割について「ジャーナリズムというのは社会問題をえぐることは大事だが、そのことにとどまるわけではない。ストレートに問題を扱うというよりも、さまざまな角度から、それぞれの地域なり国の持っている課題を、ドラマで、歌で、バラエティーで、またドキュメンタリーとしてつくり上げていく。そうしたことが放送の役割だと思う」と語りました。

#### ◆放送倫理検証委員会の見解について

BPOの放送倫理検証委員会はTBSの情報番組「みのもんたの朝ズバッ！」の不二家報道について、「誤解を招く表現や根拠の薄い断罪的なコメントなど、放送倫理上、見逃すことのできない落ち度があった」との見解を出しました。今年5月に発足した検証委が見解を出すのは初めてで、見解の内容などについて、コンプラ

イアンス室長が報告しました。

**◆テレビ、ラジオの10月編成**

テレビ、ラジオの10月編成の概要、特徴について、編成局長とラジオ局長がそれぞれ報告しました。